

令和5年度 赤梨（幸水・豊水・南水）病害虫防除暦

（「ナシヒメコン」設置を前提とした防除）

JAながの 須高ブロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
1 3月 (発芽直前) 月 日	— M2	水 展着剤 石灰硫黄合剤	90 ℓ 10 mℓ 10 ℓ	— 10,000 倍 10 倍	300 ℓ	黒星病	— 発芽前	—	・主幹部を重点に散布する。 ・カイガラムシ類とリンゴハダニの越冬卵が多い園では、「スプレーオイル」(50倍/発芽前/—)を加用散布する。その際「スプレーオイル」に「石灰硫黄合剤」を加用し、良く攪拌しながら散布する。
2 発芽1週間後 (りんぼう脱落 直前) 月 日	M1 1	水 ICボルドー412 サイアノックス水和剤	96.7 ℓ 3.3 Kg 100 g	— 30 倍 1,000 倍	300 ℓ	黒星病 黒斑病 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	— 有袋 7日前まで 無袋 45日前まで	3 回以内	・ボルドー液は、散布時期が遅れ散布直後に降雨があると葉害を生ずるので天候に十分注意する。 ・「ICボルドー412」に替えて「4-8式ボルドー」を使用しても良い。 ・シンクイムシ類の発生が多い園では、「アーデントフロアブル」(2,000倍/収穫前日まで/年間3回以内)を開花直前の防除に加用散布する。
3 1~2分咲き 月 日	— 3 M3	水 展着剤 インダーフロアブル トレノックスフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 20 mℓ 200 mℓ	— 10,000 倍 5,000 倍 500 倍	300 ℓ	黒斑病 黒星病 赤星病	— 7 日前まで 30 日前まで	— 3 回以内 5 回以内	 <p>図：りんぼう脱落直前</p>
4 落花直後 月 日	— 3 4	水 展着剤 オンリーワンフロアブル Ⓢ パリアード顆粒水和剤	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ 25 g	— 10,000 倍 2,000 倍 4,000 倍	400 ℓ	黒斑病 黒星病 赤星病 アブラムシ類 カメムシ類	— 前日まで 前日まで	— 3 回以内 3 回以内	
5 5月中旬 月 日	— 16 M3	水 展着剤 アプロードフロアブル トレノックスフロアブル ダントツ水溶剤	100 ℓ 10 mℓ 100 mℓ 200 mℓ 25 g	— 10,000 倍 1,000 倍 500 倍 4,000 倍	400 ℓ	黒斑病 黒星病 カイガラムシ類若虫 シンクイムシ類 アブラムシ類 カメムシ類	— — 30 日前まで 30 日前まで 前日まで	— — 2 回以内 5 回以内 3 回以内	・この時期以降、黒斑病初期感染防除の重要な時期である。
「ナシヒメコン」の取り付け 10a当り100本 5月下旬に設置 ※面積当りの設置本数は厳守する									
6 5月下旬 月 日	— M1	水 展着剤 キノンド一颗粒水和剤	100 ℓ 10 mℓ 100 g	— 10,000 倍 1,000 倍	400 ℓ	黒斑病 輪紋病 黒星病	— 3 日前まで	— ※9 回以内	・SSでの散布は走行スピードを遅く、やわらかい風で死角がない様丁寧な散布を行う。

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
7 6月上・中旬 月 日	— M4+M1 1	水 展着剤 オキシラン水和剤 Ⓣ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 mℓ 200 g 100 g	— 10,000 倍 500 倍 1,000 倍	400 ℓ	黒斑病 黒星病 輪紋病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ	— 3 日前まで 14 日前まで	— ※9 回以内 6 回以内	・Ⓣ「ダイアジノン水和剤34」に替えてⓉ「ダーズバンDF」(3,000倍/収穫30日前まで/年間3回以内)を散布しても良い。 ・梅雨期に枝が混んでいる園では、有機リン剤の散布によって下葉が黒変落葉することがある。
袋 掛 け は 、 薬 剤 散 布 後 1 週 間 以 内 に 行 う こ と									
8 6月下旬 月 日	— 20 M1 1	水 展着剤 カネマイトフロアブル キノド一颗粒水和剤 Ⓣ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 mℓ 100 mℓ 100 g 100 g	— 10,000 倍 1,000 倍 1,000 倍 1,000 倍	400 ℓ	黒斑病 黒星病 輪紋病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類	— 前日まで 3 日前まで 14 日前まで	— 1 回 ※9 回以内 6 回以内	・SSでの散布は走行スピードを遅く、やわらかい風で死角がない様丁寧な散布を行う。 ・梅雨期に枝が混んでいる園では、有機リン剤の散布によって下葉が黒変落葉することがある。 ・ハダニ類が多発すると、黒変早期落葉の原因となるので、発生初期のうちに徹底して防除する。 ・「カネマイトフロアブル」は、40℃以上の高温下で1日を越えて保管しない。又、非常に高温になる場所では2時間を越えて放置しない。
特別散布 無袋栽培園 (前回散布 1週間後) 月 日	— M4+M1	水 展着剤 オキシラン水和剤	100 ℓ 10 mℓ 200 g	— 10,000 倍 500 倍	400 ℓ	黒星病 黒斑病 輪紋病	— 3 日前まで	— ※9 回以内	
9 7月上・中旬 月 日	— M4+M1 4	水 展着剤 オキシラン水和剤 アルバリン顆粒水溶剤	100 ℓ 10 mℓ 200 g 50 g	— 10,000 倍 500 倍 2,000 倍	400 ℓ	黒斑病 黒星病 輪紋病 ケムシ類 シンクイムシ類 カメムシ類	— 3 日前まで 前日まで	— ※9 回以内 3 回以内	
特別散布 「南水」 無袋栽培園 (前回散布 1週間後) 月 日	— M4+M1	水 展着剤 オキシラン水和剤	100 ℓ 10 mℓ 200 g	— 10,000 倍 500 倍	400 ℓ	黒斑病 輪紋病 黒星病	— 3 日前まで	— ※9 回以内	
10 7月下旬 月 日	— 25 M7 1	水 展着剤 ダニコングフロアブル ベルコートフロアブル Ⓣ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 mℓ 50 mℓ 66 mℓ 100 g	— 10,000 倍 2,000 倍 1,500 倍 1,000 倍	400 ℓ	輪紋病 うどんこ病 黒斑病 黒星病 シンクイムシ類 ハダニ類 ハマキムシ類	— 前日まで 14 日前まで 14 日前まで	— 1 回 5 回以内 6 回以内	
11 8月上旬 月 日	— M1 3	水 展着剤 キノド一颗粒水和剤 アーデントフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 100 g 50 mℓ	— 10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍	400 ℓ	輪紋病 黒斑病 黒星病 シンクイムシ類 カメムシ類	— 3 日前まで 前日まで	— ※9 回以内 3 回以内	

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
12 8月中旬 月 日	— 6 11+7 4	水 展着剤 コロマイト乳剤 ナリアWDG アルバリン顆粒水溶剤	100 ℓ 10 ml 100 ml 50 g 50 g	— 10,000 倍 1,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	400 ℓ	うどこん病 黒斑病 黒星病 輪紋病 シンクイムシ類 ハダニ類 ケムシ類 カメムシ類	— 前日まで 前日まで 前日まで	— 1 回 3 回以内 3 回以内	
13 9月上・中旬 月 日	— 11 3	水 展着剤 ストロビードライフロアブル Ⓜ ロディー水和剤	100 ℓ 10 ml 50 g 100 g	— 10,000 倍 2,000 倍 1,000 倍	400 ℓ	黒斑病 うどこん病 輪紋病 シンクイムシ類 カメムシ類 ハマキムシ類	— 前日まで 前日まで	— 3 回以内 2 回以内	・降雨が多く黒斑病が心配される場合は、9月中旬に「ストロビードライフロアブル」(2,000倍/収穫前日まで/年間3回以内)を散布する。 ・Ⓜ「ロディー水和剤」は、蚕毒、魚毒が強いため使用地域が限定されています。

※「オキシラン水和剤」「キノンドー顆粒水和剤」は合計9回以内